



2020年5月15日

各 位

会社名 チョダウーテ株式会社
代表者名 代表取締役社長 平田晴久
(コード番号 5387 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 種田貴志
(TEL 059-364-5215)

2020年3月期個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期（通期）個別業績と前期実績値との差異

（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期(2019年3月期) 実績(A)	百万円 27,475	百万円 △509	百万円 △219	百万円 △210	円 銭 △12.21
当期(2020年3月期) 実績(B)	26,756	△568	△332	△2,035	△109.88
増減額(B-A)	△718	△58	△112	△1,825	—
増減率(%)	△2.6	—	—	—	—

2. 差異が生じた理由

収益項目において差異が発生した主な要因は、2020年5月8日に連結業績に関して「業績予想の修正および剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」で公表しました通り、個別業績の太宗を占める石こうボード事業で、2019年秋の消費税増税の影響により、2019年7月から年度末にかけて9ヶ月連続で新設住宅着工戸数が前年対比で落ち込んだ結果、販売数量が計画を下回り、予定した販売価格引き上げも計画通り進展せず、原材料等の仕入れ価格や運送コストの経費増加を吸収できなかったことによりります。

また、2020年5月8日に「業績予想の修正および剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」で公表しました通り、販売数量の減少に伴い、工場では出荷動向に合わせた在庫調整を実施せざるを得ず、特に生産規模の小さい室蘭工場と下関工場では採算改善が図り難いところに、新型コロナウイルス感染症拡大による極めて不透明な環境に直面し、1,867百万円の減損損失を特別損失として計上したことから、当期純利益は前期実績比で大きく減益となりました。

以上